

共創ラボ_過去実績

開催年度	テーマ	内容詳細	実施内容		
			回数	日付	内容
令和3年度	ウィズコロナ時代の社会課題をデータ活用と公民連携によって解決する	令和2年9月17日に、国立大学法人東京大学、富士通株式会社、横浜市の3者で締結した「ウィズコロナ時代の社会課題をデータ活用と公民連携によって解決するための連携協定」の取組の一環として、次の内容の共創ラボを実施 ① コロナ禍における社会的制約と、生活価値観の変化に基づいた市民各層の「幸せ」の構成要素を明らかにすることで社会共通の課題（群）を導き出す ② 社会共通の課題（群）を解決するための事業や仕組みをリビングラボのようなオープンイノベーションの手法によって創発し、検証する	第1回	R3.6.24	Happiness Jacketによる課題解決手法検討
			第2回	R3.10.27	横浜の魅力からハピネスを探る～横浜DNA～
			第3回	R3.11.1	横浜に暮らすこと、訪れることのハピネスを探る～横浜のDNAを掘り起こせ～（オープンワークショップ）
			第4回	R3.12.8	～「野生の思考」と「地域循環型経済」（サーキュラーエコノミーplus）で実現する、市民一人ひとりのウェルビーイング～
令和2年度	Stay HomeからStay with Your Communityへ	特定非営利活動法人横浜コミュニティデザイン・ラボ及び、一般社団法人YOKOHAMAリビングラボサポートオフィスが構築・運営する新型コロナウイルス感染症に対応する共創プラットフォーム『#おたがいハマ』と連携し、産官学民の多様な主体の参画により、様々な形で新型コロナウイルス感染症への対応を進めていくためのセミナー等を実施	第1回	R2.8.1	Stay HomeからStay with Your Communityへ #おたがいハマ セミナー vol.10
			第2回	R2.8.22	Stay with Your Communityで経済に息を吹き込む～横浜、神奈川からの挑戦
			第3回	R2.9.25	セントラル関内から発信する地域循環型経済 #おたがいハマセミナー vol.17
			第4回	R2.10.7	公民連携で創るウィズコロナ時代のデータコンソーシアム～東京大学 大学院工学系研究科 大澤研究室と横浜市との連携を軸に～
			第5回	R2.11.3	港ヨコハマの原点を探り、地域の歴史に根差したまちの未来を描く～横浜の経済を支え、原風景を生み出した生糸を切り口に～
			第6回	R3.2.29	ウィズコロナ時代：日常生活からデータまで繋げて創る横浜ハピネス
平成31年度・令和元年	テーマ1： 公民連携で考える臨海都心部における「ダイバーシティ&インクルージョン」	インナーハーバー地区をダイバーシティ・インクルーシブ・オープンイノベーションの視点から多様な主体の連携により、どのように再生していくかということをテーマに民間事業者と連携して7回のワークショップ等を実施 ※平成30年度より継続	第1回～第6回	H31.4～R1.9.20	<ワークショップ&フューチャーセッション> 全6回 (H31.4.25/R1.5.28/R1.6.28/R1.7.24/R1.8.23/R1.9.20)
			第7回	R1.11.21	<特別セッション> 共創ラボ～横浜のオープンイノベーションのこれからの公民連携で考える！～ 【内容】 ◆共創ワークショップ：SDGs×横浜×テクノロジー ・横浜市の状況把握 ・テクノロジーを活用した課題解決のアイデアを考える ◆共創ラボ：横浜のオープンイノベーションのこれからの公民連携で考える！ ・「横浜市、オープン・イノベーションのこれまでとこれから」 ・「データがジャケットを着たら見えてくる新たなチャンスを探そう」 ・「横浜のオープンイノベーションのこれからの公民連携で考える」
	テーマ2： 横浜の農業の現状と課題認識	公民連携で考える横浜市の農業の現状と課題について担当部署からの説明をはじめ、横浜オーリーブ（旭区ほか）や、アオサ利用（金沢区）の事例紹介を交えたセッションを実施	第1回	R2.1.22	横浜の農業と課題認識
			第2回	R2.2.13	アイデア創出のためのワークショップ
			第3回	R2.3.13	現実的なビジネスモデル化に向けた検討 <コロナのため中止>

開催年度	テーマ	内容詳細	実施内容		
			回数	日付	内容
平成30年度	公民連携で考える臨海都心部における「ダイバーシティ&インクルージョン」	インナーハーバー地区をダイバーシティ・インクルーシブ・オープンイノベーションの視点から、多様な主体の連携により、どのように再生していくかをテーマに民間事業者と連携して4回実施	第1回	H30.11.8	SDG s × 教育（人づくり）を切り口にして「みなとみらい地区」における多様性と包括性を融合させたまちづくりをテーマに、地元企業と学校関係者によるフューチャーセッションを実施 開催場所：みなとみらいInnovation & Future Center 参加人数：50名
			第2回	H30.12.13	SDG s × 子育て、働き方改革を切り口にして「みなとみらい地区」における多様性と包括性を融合させたまちづくりをテーマに、地元企業と子育て支援NPOによるフューチャーセッションを実施 開催場所：BUKATSUDO 参加人数：30名
			第3回	H31.1.11	ダイバーシティ、インクルージョン、オープンイノベーションの視点から、インナーハーバー地区（横浜駅周辺、新高島地区、ポートサイド地区等）を公民連携でどのように再生していくかをテーマにフューチャーセッションを実施 開催場所：横浜国立大学 参加人数：100名
			第4回	H31.2.6	ダイバーシティ、インクルージョン、オープンイノベーションの視点からインナーハーバー地区（横浜駅周辺、新高島地区、ポートサイド地区等）を公民連携でどのように再生していくかをテーマにフューチャーセッションを実施 開催場所：横浜駅周辺 参加人数：100名
平成29年度	子連れで楽しい街・横浜	総務省補助事業「官民データ利活用スマートシティ推進事業」の一環として、データを活用した課題解決型の対話の手法や公民連携の場づくりの検討を目的に開催企業・NPO・大学研究機関・関係局の職員が参加	第1回	H29.9.19	子連れで楽しい横浜のまちづくりをテーマに、関連するデータの共有化と課題のマッチングを実施 開催場所：情報科学専門学校 参加人数：30名
			第2回	H29.10.17	対象エリアを「みなとみらい地区」に絞って、関連するデータの共有化と課題のマッチングを実施 開催場所：富士ゼロックスお客様共創ラボラトリー 参加人数：40名
			第3回	H29.12.12	「みなとみらい地区」を、より子連れで楽しいまちづくりしていくためのシナリオを作成 開催場所：泰生ポーチフロント 参加人数：40名
			第4回	H30.2.15	第3回で作成されたシナリオをどのように事業化していくかという観点で対話を実施 開催場所：（一社）横浜みなとみらい21 プレゼンテーションルーム 参加人数：20名
平成28年度	健康経営	社員の健康づくりを通じて市内企業を支援するため、健康福祉局・経済局と連携して2回開催	第1回目	H28.12.20	企業経営者に加え、健康増進サービスを提供する事業者等の参加者が集い、健康経営実践の難しさといった課題や、取り組みやすい解決方策等を共有 開催場所：BUKATSUDO(HALL) 参加人数：56名
			第2回目	H29.3.29	初回の議論を踏まえ、社員ニーズに合致した目標設定や、企業全体としてルール化を進める重要性について対話し、各社での具体的な取組を推進 開催場所：ワークピア横浜（かもめ・やまゆり） 参加人数：40名